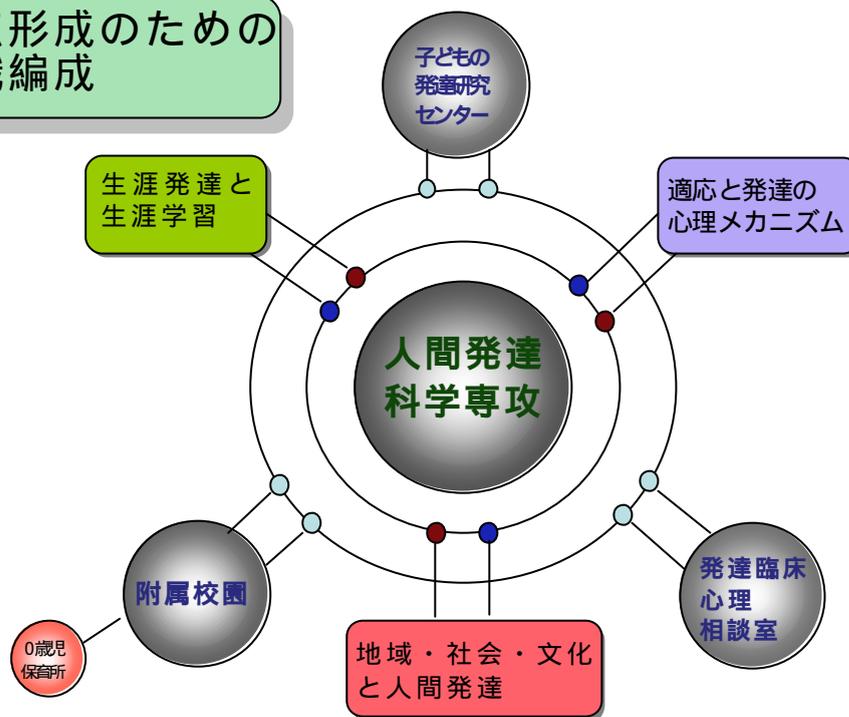


大学名	お茶の水女子大学	学問分野	人文科学
専攻等名	人間文化研究科・人間発達科学専攻		
拠点のプログラム名称	誕生から死までの人間発達科学		
拠点リーダー氏名	内田伸子	所属部局・職	人間文化研究科・教授
プログラムの概要	本プログラムは、「誕生から死までの人間発達科学 生涯発達追跡研究センターの構築」というテーマのもとに、人間発達科学領域における国際的な研究拠点としての質を高め、かつ高度な研究の遂行を通じて、卓越した研究者を養成する教育拠点の形成を目指すものである。		
拠点形成の目的・必要性	<p>「乳幼児虐待」、「育児不安」、「コミュニケーション退化」、「学級崩壊」、「学力低下と格差の拡大」、「フリーターの増加」、「中高年期離婚/自殺の増加」、「空の巣症候群」、「安楽死・尊厳死」。それらは、現代社会の中で私たちが解決していかなければならない緊急の課題である。</p> <p>「人間発達」に関するこのような今日の問題を解明・診断し、処方箋を作成するには、以下のような要請に応える必要がある。</p> <p>(1) 生涯発達過程の解明  (2) 縦断的追跡研究  (3) 学際性  (4) 行動科学的アプローチと脳科学との統合</p> <p>本拠点形成の目的は、人間発達の今日の問題を扱うため、上記の要請に応えるべく、時間軸としての発達を「誕生」から「死」まで網羅し、家庭、学校、職場、あるいは様々な文化を視野に入れ、人間行動から脳神経科学までを扱う、生涯発達追跡研究センターを構築することである。</p>		
研究拠点形成実施計画	<p>本研究では、人間発達の時間的・空間的多様性を捉えるために、以下の4つのプロジェクトを遂行する。プロジェクト1, 2は心の発達の基礎と臨床的支援を、プロジェクト3, 4は、発達の時間・空間的位相を扱う。4つのプロジェクトは、相互に連携を図り、協力体制の下で遂行される。</p> <p>プロジェクト1 基礎的心理発達過程の解明と教育的支援  プロジェクト2 家庭・学校・地域における発達危機の診断と臨床的支援  プロジェクト3 子どもから成人へのトランジション(移行)に及ぼす社会・文化的要因の探求  プロジェクト4 中高年期の危機的移行と社会的支援に関する長期的研究</p> <p>これらの4つの研究プロジェクトの遂行と、拠点教育プログラムを組み合わせ、  「人間発達科学」の研究拠点を形成する</p>		
教育実施計画	<p>本拠点形成事業において養成することが期待されているのは、次のタイプの人材である。</p> <p>大学院博士後期課程院生およびポスドク研究員を対象とした、人間発達科学領域における女性研究者の養成  アジア諸国を中心とする人間発達領域における女性研究者の養成  研究能力を持った、高度専門的職業人の養成</p> <p>上記3タイプの人材養成を目的として、以下の教育的取り組みを推進する。</p> <p>(1) 研究事業への正規メンバーとしての参加システム  (2) 外国人留学生、アジア諸国の若手女性研究者の受け入れ  (3) 生活支援 独自のRA雇用システムの創設  (4) 公募による研究支援  (5) 国内外における、研究成果の発表支援</p>		

拠点形成のための  
組織編成



拠点形成のための  
プロジェクト編成

